

授業科目名・形態	リハビリテーションと看護 講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	渡邊知子	実務経験の有無	有	開講期	3年後期

【授業の主題】

回復期にある対象者の看護の基本原則と、臨地実習での疾病や障害に対する看護実践を踏まえた発展的学習を行なう。また、維持期や地域など介護保険におけるリハビリテーション、緩和ケアやがん看護での補完・代替療法を取り入れたリハビリテーション看護等について、幅広い視点からリハビリテーション看護を考える。

【到達目標】

- 1) 生活の再構築とリハビリテーション治療に必要な看護援助方法を説明することができる。
- 2) 健康障害によって生じる生活障害を軽減するための知識と技術の活用するリハビリテーション看護を考察することができる。

【授業計画・内容】

- 第1回 リハビリテーション看護の考え方
- 第2回 回復期リハビリテーション病棟の看護
- 第3回 運動機能障害患者に対するリハビリテーション看護
- 第4回 高次脳機能障害患者に対するリハビリテーション看護
- 第5回 摂食・嚥下障害のある患者のリハビリテーション看護
- 第6回 介護保険におけるリハビリテーション看護
- 第7回 がん患者のリハビリテーション看護
- 第8回 補完・代替療法とリハビリテーション看護

【授業実施方法】

講義および演習

【授業準備】

講義終了時に次回の授業内容について周知します。教科書等で予習し、講義に臨んでください。

【主な関連する科目】

成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、緩和ケア論、老年看護方法論Ⅰ・Ⅱ

【教科書等】

系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院

【参考文献】

- 酒井郁子他：リハビリテーション看護 改定第3版 南江堂 2021
 奥宮暁子他：ナースング・グラフィカ 成人看護学⑤ リハビリテーション看護 メディカ出版 2022
 中西純子他：リハビリテーション看護論第3版 ヌーベルヒロカワ 他講義中にも紹介します。

【成績評価方法】

レポート(80%)、授業態度(20%) による総合的評価

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

脳血管障害患者のリハビリテーション病棟での勤務経験していました。また、回復期リハビリテーション病棟で治療を受ける患者と家族を対象とした研究を行ってきました。リハビリテーション治療時に必要な看護と生活の再構築に必要な看護の違いについて講義します。

【学生へのメッセージ】

これまでの実習で実施した生活を再構築するための援助に関する知識と技術を整理し、看護援助の意義を再確認するための機会としてください。